

取扱説明書

rシステム
OR素子
PLK-A11

- 製品をお使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
- 特に安全に関する記述は、注意深くお読みください。
- この取扱説明書は、必要な時にすぐ取り出して読めるように大切に保管しておいてください。

本製品を安全にご使用いただくために

本製品を安全にご使用いただくためには材料、配管、電気、機構などを含めた空気圧機器に関する基礎的な知識(日本工業規格 JIS B 8370 空気圧システム通則に準じたレベル)を必要とします。

知識を持たない人や誤った取扱いが原因で引き起こされた事故に関して、当社は責任を負いかねます。

お客様によって使用される用途は多岐にわたるため、当社ではそれらすべてを把握することができません。ご使用条件によっては、性能が発揮できない場合や事故につながる場合がありますので、お客様が用途、用法に合わせて製品の仕様の確認および使用法をよく理解してから決定してください。

本製品には、さまざまな安全策を実施していますが、お客様の誤った取扱いによって、事故につながる場合があります。そのようなことがないためにも、必ず取扱説明書を熟読し内容を十分にご理解いただいたうえでご使用ください。

目次

PLK-A11

SM-278192

1. 製品に関する事項

1. 1. 仕様.....1

1. 2. 外形寸法.....1

1. 3. 動作説明.....2

2. 取り付けと配管方法.....2

3. 使用流体について.....3

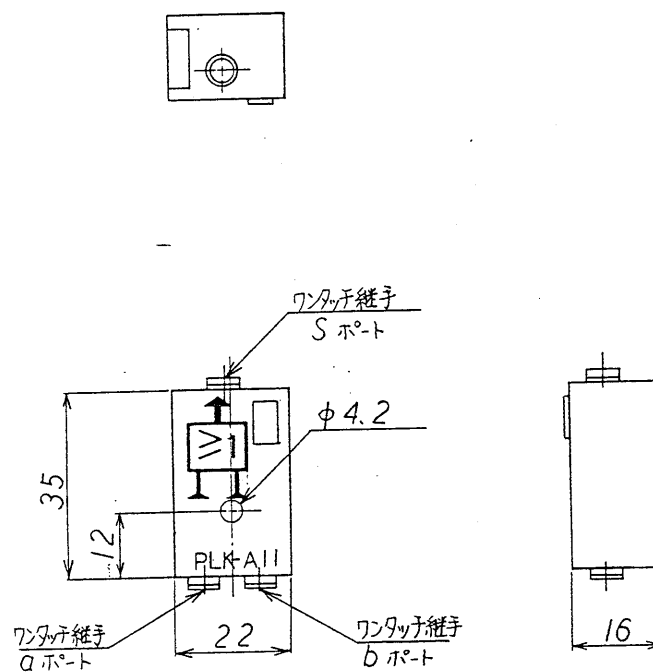
4. 配管について.....3

1. 製品に関する事項

1. 1. 仕様

形番	PLK-A11
項目	
使用流体	圧縮空気(無給油)
最高使用圧力 MPa	0.8
最低使用圧力 MPa	0.3
流体温度 °C	5~60
周囲温度 °C	-10~60(但し凍結無きこと)
有効断面積 mm ²	2
接続方式	φ4チューブ用ワンタッチ方式
使用チューブ	ナイロン11 φ4硬質チューブ (外径精度 $\phi \begin{smallmatrix} +0.05 \\ -0.07 \end{smallmatrix}$)
推奨チューブ	ソフトナイロンチューブ F-1504

1. 2. 外形寸法



1. 3. 動作説明

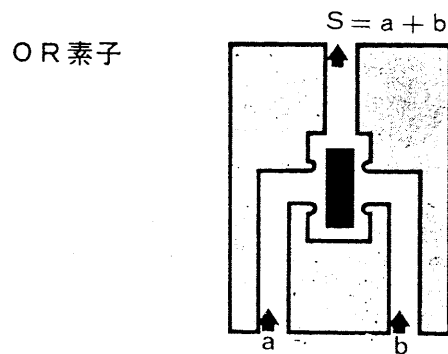
OR素子はaかb又は両方があるときに出力Sは出ます。

信号aが入った時ポペットは右側に押され出力Sは出ます。

信号bが入った時ポペットは左側に押され出力Sは出ます。

出力Sはこのようにaかbどちらか又は両方入った時に outputs。

注記:OR素子はシャトル弁ともいいます。

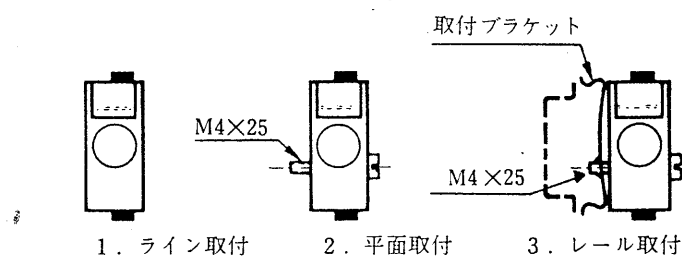


2. 取り付けと配管方法

配管は、ワンタッチストレート継手にて接続します。

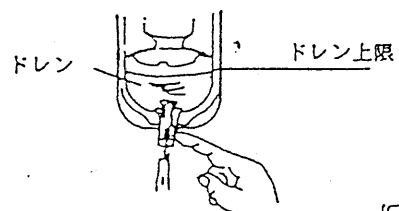
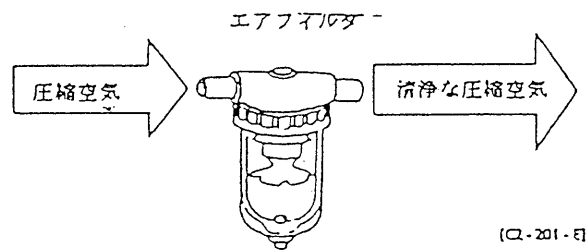
ラインタイプ素子には3種類の取付方法があります。

1. ライン取付:配管チューブの途中に取付ける方法。
2. 平面取付:平面板上にM4のビスで取付ける方法。
3. レール取付:素子に取付ブラケット(PZM-L199)をつけ、レールに取付ける方法。



3, 使用流体について

- 1) 使用する圧縮空気はエアフィルタを通した清浄で水分の少ないドライエアを使用してください。このため回路にはフィルタを使用し、フィルタはろ過度(5 μ 以下が望ましい)・流量・取付位置などに注意してください。
- 2) フィルタにたまったドレンは指定ラインを越える前に、定期的に排出してください。
- 3) コンプレッサオイルの炭化物(カーボンまたはタール状物質)が回路上に混入すると、電磁弁やシリンダが作動不良をおこします。コンプレッサの保守・点検には十分注意してください。



4, 配管について

- 1) フィルタ以降の配管材は亜鉛メッキ管・ナイロンチューブ・ゴム管など、腐蝕しにくいものをご使用ください。
- 2) シリンダと電磁弁をつなぐ配管は、シリンダが所定のピストン速度が出るだけの有効断面積があるものをご使用ください。
- 3) 管内の錆・異物・およびドレン除去のためフィルタはできるだけ電磁弁の近くに取りつけてください。
- 4) 配管前に管内の異物・切粉等を除去のため、管内のフラッシング(エアー吹き)をしてください。

